

新任のご挨拶

一般財団法人日本ドッジボール協会
会長 橋本 聖子



2022年6月より、一般財団法人日本ドッジボール協会会長に就任いたしました。

このたびのご縁は、前々職の森喜朗元会長と前職の馳浩前会長から直々の打診があり、お引き受けすることとなりました。

私自身はスピードスケート、自転車競技といったアスリート経験がありますが、現在はアスリートを支える立場となり、オリンピック、パラリンピック競技に限らず、様々な競技、多くの選手に親しみ、しっかりと支援できるよう努力しています。

ドッジボールはボール一つあればできますし、投げる、避ける、受け止めるといった攻防の中、誰もが活躍できるスポーツです。日本ドッジボール協会では、年に4回の全国大会を開催しています。選手も小学生から社会人まで幅広く、まさに生涯スポーツといえる活動を誇ります。昨夏、水戸にて開催された第31回全日本選手権では、開会式から予選の試

合まで、時間の許す限り観戦いたしました。体育館に敷かれたカラーコート上で選手が躍動する姿、一斉に踏みしめる音、ボールをキャッチする瞬間の緊張と素早い攻守の切り替わり、審判員のホイッスルや力のこもった応援のすべてが、今でもいきいきと思い出されます。その場にいる全員がドッジボールにかける熱い思いを共有していました。アスリート時代の経験を思い起こしながら、スポーツを競技する楽しさと、応援する幸せを感じる時間でした。

公務のため、時に参加できない大会もあるかと思いますが、できる限り協会の活動に参加したいと考えています。子どものころから親しんだドッジボールを通して、皆様と交流できますことを心から楽しみにしています。

最後になりましたが、一般財団法人日本ドッジボール協会の役員、都道府県協会の役員、スタッフ、チームや選手の皆様の今後のご多幸とますますのご発展を祈念し、ここにご挨拶いたします。

2022年6月より、頼もしい理事が新加入！
松田文子理事、及川友子理事のお二人です。2022年8月より、全国大会でも活躍中です。今回の広報紙にメッセージをいただきました。全国大会、事業などで、ぜひお声がけください！

新理事紹介



松田 文子 理事

ご縁があり、この度日本ドッジボール協会の理事に就任いたしました。子どもの頃に楽しんだ遊びのドッジボールを想像していましたが、大会などを観戦して選手の皆さんの真剣なまなざしや戦略など想像

以上に楽しいスポーツであることがわかりました。

学生時代の部活：バスケットボール部やハンドボール部に所属していました。

得意なスポーツ：瞬発力の必要なスポーツは年々キツくなっているため、今はウォーキングやポールウォーキングをしています。徘徊ではないですよ～（笑）

趣味：とにかく体を動かすこと。何かをつくること。自身にとって実益が伴うことが好き。



及川 友子 理事

スポーツ推進委員会の繋がりで、この度理事に就任いたしました。地元のイベントでドッジボールをやったことはありましたが、本格的なものはこうも違うのかと驚くと同時に、今まで他のどの競技でも見たことのない機敏な審判に、見とれてしまいました。支える側の本気度も痛

感いたしました。

学生時代の部活：小学生からバレーボール！でも背が伸びなくて…高2～社会人までハンドボール（社会人で全国ベスト8）

得意なスポーツ：ママ友に誘われて、ママさんバレーとソフトバレーボールを現在まで続けています。地元でソフトバレーボール連盟を設立、初代会長→都連指導普及→JVA マスターリーダー

趣味：断然ゲーム!! スマホ～オンラインまで、一番ハマっているのはFF14。家庭を持った子どもたちとオンラインで繋がれるのも楽しい（笑）でも、今はなかなか思うように出来る時間が無く…年金生活になったら引きこもってゲーム三昧の日々というのが夢～

*** 委員会活動報告 ***

DAとして活躍中の森口さんをご紹介します！

JDBA 普及委員長 岩見 喜市

2022年から始まったDA制度。今年度は16名が認定されました。その中から、九州ブロックの森口真衣さんのドッジボールに対する思いをお伝えします。

ドッジアドバイザーとして 森口 真衣

私は中学2年生の時に、初めて日本代表選手に選出していただきました。その時期から、「見ている人達を、自分のプレーで魅了できれば、もっと多くの人達にこのスポーツを知ってもらえることができる。」という気持ちが、強く芽生えるようになりました。また、所属していたチームや日本代表の活動を通して、何人もの指導者の方々から、ドッジボールの魅力をいろいろな目線で伝えていただきました。

その結果、ますますドッジボールが大好きになり、常に向上心をもって活動することができるようになりました。それから、自分が次の世代のドッジボーラーやドッジボールの存在を知らない人達に、ドッジボールの魅力を伝えていきたいという思いが高まり、普及活動に取り組むようになりました。そして、2022年度は、ドッジアドバイザーとなり、九州ブロックを中心に、ドッジボール教室等の講師を務めました。

普及活動を始めた頃は、目の前にいる子供たちにドッジボールを上手にするための方法や、面白さを伝えることが精一杯でした。最近では、多く



の教室の運営や講師の経験から、子供たちだけでなく、参加している子供の保護者の方々に、どのようにしてドッジボールの魅力を伝えられるか、ということに重点を置いて活動するようになりました。しかし、まだまだ未熟な点が多いので、これからは試行錯誤しながら、常により良い教室を運営していけるように精進していきます。

世界では合計200を超えるスポーツが存在していると言われていいます。その中で、ドッジボールをメジャーなスポーツにしていくためには、多くの認知度、注目度が大切だと考えられます。険しい道のりかもしれませんが、私は、これまでのドッジボールの経験の中で、試合は最後の最後まで誰にも結果は予測できないこと、諦めなければ勝利を掴めること。などを学んできました。今後もこの気持ちを忘れず、普及活動を行っていきたく思います。ドッジボールがメジャーなスポーツに少しでも近づくために。

ドッジボールコーチ1資格取得について (JDBA 呼称「A級指導員」)

JDBA 指導委員長 西村 陽一

2024年度からの全国大会（都道府県予選を含む）では、ベンチに必ず「ドッジボールコーチ1（JDBA呼称；A級指導員）」（以下、「A級指導員」という）の資格保有者1名以上の配置が始まります。

A級指導員は、日本スポーツ協会が主催する「コーチングアシスタント【共通科目Ⅰ】」と「B級指導員資格取得【専門科目Ⅰ・免除】」を併せて資格を取得できます。

現在、B級指導員を保有していて、今後A級指導員を目指す方は、公益財団法人日本スポーツ協会が主催する「コーチングアシスタントオンライン講座」の受講をすすめて下さい。コーチングアシスタント取得からの推奨2023年第一コースのスケジュール感はコチラ（QRコード①導入）

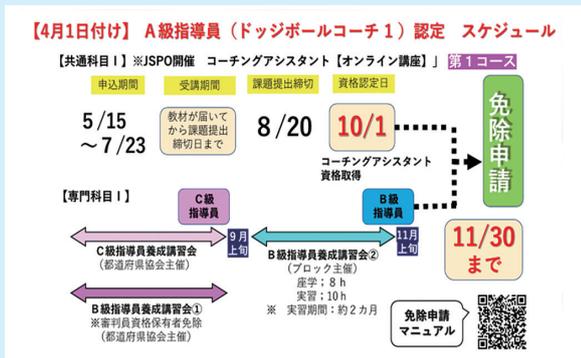
なお、2023年1月20日（金）申込をもってNHK学園での通信講座は受付終了しました。2023年度からの新規申し込みは「日本スポーツ協会」へ。取得方法、要項はコチラから。（QRコード②導入）詳しくは、直接公益財団法人日本スポーツ協会へお問合せください。



カラー図
QRコード①



要項
QRコード②



公認審判員の現状と2023年度の事業計画について

JDBA 競技委員長 中野 誠司

2022年度に於ける、公認審判員の登録者数についてお伝えします。2023年1月末の時点で4,120名の方がJDBA公認審判員として登録されております。内訳としましては、A級審判員・34名、B級審判員・418名、C級審判員・3,668名となっており、前年の同月と比較し3.7%増の状況に至っております。また、2020年度と2021年度を比較しましても7.3%増と、微増ではありますが登録者数の拡充が図られておりました。これもひとえに、各加盟団体の皆様のご尽力の賜物と思ひ、深く感謝をする次第であります。今後も、ドッジボール人口の更なる拡大の為、関係各位の皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、2023年度の競技委員会の事業計画についてお知らせします。B級認定会およびブロック研修会にしましては、従来通り9ブロック全てに於いて開催を予定しております。また、来年度はA級認定の実施を計画しております。これらの事業に於きましても、各加盟団体ならびに各ブロック皆様方の側面からのご協力が必要となりますので、何とぞお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。

その他、JDBAでは2年に1度の定期改正に基づき、2023年4月1日付で競技規則（公式ルール&審判テキストブック）を一部改正し、6月1日より施行致します。今後も引き続き2年に1度の定期改正を実施し、より円滑な競技運営を目指して参ります。

なお、公認審判員の皆様には、2023年度の更新手続の際、「公式ルール&審判テキストブック」代金を含めた更新費用をお支払い頂く形になります。公認審判員の必備品である「公式ルール&審判テキストブック」を確実に皆様のお手元にお届けし、競技規則の改正内容に即時ご対応頂くための措置となります。皆様には各種の事情をお酌み取り頂き、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

新種目マルチボール 国内普及の基礎固めを

JDBA 国際委員長 長谷川 満也

昨年のルールガイド作成に続き、今期は5月に岐阜市において、中学生以上を集めた体験会&練習会、審判員資格講習会を開催するに至りました。選手は国内トップレベルの選手からD-1を卒業したばかりの選手、審判員は既存のJDBA有資格者がほとんどです。いずれもJDBA シングル種目で培われた技術と感性により、順応されていました。改めて「ドッジボールはあらゆる運動の原点」であることを認識できました。この参加者から、World Cup 2022 Cairo に多くの代表選手と審判員が選考派遣され大活躍を収めました。今後の普及に関しては手探りではありますが、マクロ的な考えで取り組む所存です。

海外対応ですが、上部団体であるWDAはオリンピック競技採用に向けて動いており、もう一つの団体との統合に向けて調整中です。今後のW杯開催動向が気になる所であり、シングル種目採用に向けての準備・交渉、国際大会への選手団派遣のための人材、費用の安定供給のルーティン構築が当面の課題となります。次期以降は海外で主流であるマルチ種目で一定の成果を収めたことをベースに国際団体での地位向上に繋げて、順を追って課題を解決しつつ、W杯でのシングル種目採用、最終的にシングル&マルチの両種目で好成績を収めることを目標とします。選手達の熱意に応じて日本でW杯を開催し、両種目で日の丸をセンターポールに掲げる…といった、まんざら夢でもない構想を思い描けるのも国際活動の魅力ではないでしょうか。夢を力に。国内の機運を高めてまいりましょう。



World Cup 2022 Cairo に向け下地作り

JDBA 国際委員会 強化部 郷 竹人

2022年5月22日、岐阜メモリアルセンターでJDBAマルチボール体験会・交流会・審判員認定講習会を開催しました。当日は選手75名、審判員17名が参加し、より実践的な事業を開催することができました。選手の中には日本代表経験者や日本代表を目指す選手も参加していたことから、ここからW杯出場に向けての準備が始まったと言えます。2023年度は岐阜県で5月に開催します。詳細は協会公式HP・SNSでご確認ください。



SPY×FAMILY 大会コラボを成功させよ！ 奇跡のドッジボールコラボまでの軌跡～

JDBA 全国大会実行委員会 総務部

そもそもは2022年4月、事務局にかかった1本の電話から始まりました。

「何か、ドッジボールさんとコラボできないかなあと思って！」という謎めいた軽い問合せ。

即座に事務局長AがSPY×FAMILYの配信元であるのでは？と気付き、もしかしたら、いや、まさかね、と思いつつ広報担当Gにボタンが渡った!! 広報担当Gもコミックス全巻所有&愛読、おもしろい、と周囲に勧めまくってました。X氏に連絡を取ったところ、まさに本当にSPY×FAMILYアニメの担当者。理事会決議をもって、怒涛のコラボ企画がスタートしました。

JDBAも始祖以来の偉業となる、大人気アニメ&コミックスのコラボとあって権利関係には細心の注意を払いつつ、大会ポスター、会場に配置するスタンディ、と次々にコラボが成立し、参加賞のクリアファイル、うちわなどチームへの配布グッズ制作も行うことができました。夏の全国大会では、副賞にメロン、凄麺など豪華賞品、参加賞に別種凄麺、せんべい、桃ゼリー、などご協賛賞品にも花を添えるコラボグッズとなりました。



また、広報担当の思惑通り、協会内にSPY×FAMILYのアニメ&コミックス人気を挙げ、銀座の某百貨店コラボ企画展に理事全員を引き連れファン層を厚くし、全都道府県協会にポスターを発送して予選大会での掲示を依頼、都道府県協会、チームからの大反響を得て企画成功を実感しました。ただひとつ残念なことは、コロナ禍も一時落ち着き始めた時期、入場制限撤廃をもって広報し、より多くの入場者に楽しんでいただきたかった思いがあること。そしてここに、『ミッションコンプリート!』を全ドッジボールラーに宣言いたします。

これからもドッジボールの魅力アップに繋がるコラボ企画を育てるべく邁進中!

TV界でドッジボールが熱い!

JDBA 広報担当 後藤 聖子

コロナ禍による思わぬ副産物、マスコミから出演依頼等の問い合わせが増えていきます。「超一流」、「天才&大群」、「炎の体育会TV」など、シングルボール、マルチボールともドッジボールの楽しさを紹介していただけました。なかでも「炎の体育会TV」は2021JDBA全日本選手権優勝の「VegaesO³」、2022JDBA全日本選手権S-1の部優勝の「くらわんか」が出演。まさに、日本一のファイターチームが大抜擢!

芸能人最強軍、アスリートチームと対決するも瞬時に勝ちが付く結果となり、ディレクターを少しばかり困らせる収録となりました。対戦相手はシニア選手を練習相手として、勝つための作戦を練ります。しかし、いざ勝負となると速いパス回しで何もできないとの嘆き。選手たちにはおなじみの展開も、これまたドッジボールの面白さ。2度目、3度目の再収録(挑戦)の鍵となったようです。収録現場では、

見逃し配信チャンネルTVerの閲覧回数が多かった、と実況を担当するアナウンサーから嬉しいお言葉を頂戴しました。

ゴールデンタイムに放送されることで、ファン層が厚くなり普及にも繋がればと、担当の心も弾みます。ボールがあれば「いつでも どこでも だれとでも」。楽しむことから始めてみましょう。また、依頼に繋がりますように。

2022年度選手権結果

◆第31回全日本ドッジボール選手権



開催日：2022年8月21日(日)
開催場所：茨城県水戸市 アダストリアみとアリーナ
優勝：やまびがファイターズ(大阪府)
準優勝：中新田ファイヤーズ(神奈川県)
第3位：ベストウエルヴ(兵庫県)
第3位：RISINGSUN(福岡県)

◆2022J.D.B.A. 全日本選手権



開催日：2022年10月2日(日) 開催場所：福岡県北九州市 北九州市立総合体育館
S-1の部
優勝：くらわんか(関西ブロック・大阪府)
準優勝：RED ☆ MAX(関東ブロック・千葉県)
第3位：原田WINGS-MAX(九州ブロック・福岡県)
第3位：O.T.D.C(九州ブロック・福岡県)



S-1(U15)の部
優勝：DRAGON BALL®(東海ブロック・愛知県)
準優勝：愉快的仲間たち(中国ブロック・山口県)
第3位：KG レジェンド(四国ブロック・鳥取県)
第3位：Feujon Jr(東海ブロック・岐阜県)

2021年度選手権結果

◆2021J.D.B.A. 全日本選手権



開催日：2022年3月26日(土)
開催場所：広島県広島市 広島グリーンアリーナ
優勝：Vegaes O³(関東ブロック：東京都)
準優勝：FALCONPAPAS(関西ブロック：京都府)
第3位：フロイデ(関東ブロック：神奈川県)
第3位：Red 愛(東海ブロック：愛知県)

◆第9回全日本女子総合選手権



開催日：2022年12月11日(日) 開催場所：茨城県水戸市 アダストリアみとアリーナ
S-1Gの部
優勝：Mito GS girl's(関東ブロック・茨城県)
準優勝：HOLICK(四国ブロック・愛知県)
第3位：阿波 club 蓮(四国ブロック・徳島県)
第3位：くノ一(九州ブロック・福岡県)



D-1Gの部
優勝：Fillies(静岡県)
準優勝：Kanagawa jewels(神奈川県)
第3位：empress(茨城県)
第3位：ツイスト(愛知県)

Dodgeball World Cup 2022 Cairo

試合映像はこちら



**MEN 12/17
JAPAN
VS
MALAYSIA**



**WOMEN 12/17
JAPAN
VS
USA**

号外もご覧ください！

◆第31回 春の全国小学生ドッジボール選手権



開催日：2022年3月27日(日)
開催場所：広島県広島市 広島グリーンアリーナ
優勝：Red Victory(愛知県)
準優勝：DOKKY'S(静岡県)
第3位：八万ファイヤーインパクト(徳島県)
第3位：飯倉シャイニングキッズ(福岡県)

2023年度選手権予定

2023年8月20日(日)

第32回夏の全国小学生ドッジボール選手権
(茨城県水戸市) アダストリアみとアリーナ

2023年10月1日(日)

2023J.D.B.A. 全日本総合選手権
(大阪府大阪市) おおきにアリーナ舞洲

2023年12月3日(日)

第10回全日本女子総合ドッジボール選手権
(石川県金沢市) いしかわ総合スポーツセンター

2024年3月31日(日)

第33回春の全国小学生ドッジボール選手権
(福岡県福岡市) 福岡市総合体育館

マルチボールを体験しよう！5月、来たれ岐阜

2023年5月27～28日、岐阜県「岐阜メモリアルセンター・ふれ愛ドーム」でJDBAマルチボール体験会・交流会・審判員認定講習会を開催します！未来の日本代表、未来の国際審判を目指そう。詳細は、4月以降協会HP、フェイスブック、インスタグラムで公開予定！



JDBA Facebook
<https://www.facebook.com/japandodgeball/>



JDBA Instagram
https://www.instagram.com/japan_dodgeball/

JDBAからのお知らせ

コロナ禍の苦しい時期を抜け、慎重を期しつつも活動再開を実感しています。みなさまのご無事とご活躍を願いつつ、2023年度もどうぞよろしくお願いたします。

●JSPO コーチングアシスタント養成講習会講座

「NHK 学園」の取り扱いが終了し、2023年度からはJSPOでの直接開催オンライン講習会が始まります。2024年度からのチームへのA級指導員配置を目指した取得スケジュールについて、ご希望の方はご確認の上、受講申込等の手続きを行ってください。

●公認審判員・指導者・競技者など資格更新について

・公認審判員

更新の手続きに変更はありません。今年度は『2023-2024年度ドッジボール公式ルール&テキストブック』発行。更新手続後はルールブック・ワッペンを発送します。

・公認指導員

更新の手続きに変更はありません。A・B・C級指導員とも、所定の更新料のお振込みをお願いいたします。※詳しくは「会員各位・各種資格更新手続きに関するお知らせ」の表をご確認ください。

・競技者

更新の手続きに変更はありません。また、新しく競技者登録の場合は、新規登録・メンバーサイトログイン後に「競技者申請」を行ってください。申請と併せ、登録料を確認後、承認手続きとなります。

●チーム登録について

2022年度本格開始のS-1、S-1G及びU15のチームのご登録は変わりません。全日本総合選手権、全日本女子総合ドッジボール選手権とその予選会(シニアチャンピオンシップ)に出場する際は、チーム登録後に大会エントリーをWeb上で手続きしてください。また、全日本総合選手権等の全国大会を目指す場合は、シニアチャンピオンシップエントリー時に「上位大会」のチェックを行ってください。尚、D-1、D-1Gでは、登録制度自体の変更はありません。

●ルールブック翻訳について

国際化に向けた「シングルボールルール(JDBAルール)」の英訳簡易版作成は継続取組中です。また、「マルチボールゲーム(WDAルール)」の和訳版とクイックスタート版は5月岐阜の体験会で販売予定です。

2022年度トピックスはエジプト開催「World Cup 2022 Cairo」。ぜひ号外をご覧ください。

一般財団法人 日本ドッジボール協会

<https://www.dodgeball.or.jp>
〒105-0004 東京都港区新橋6-4-3 ル・グラシエル BLDG.7-405
TEL.03-5776-1830 FAX.03-5776-1840

スポーツくじ



すべてのスポーツにエールを
<https://www.jpnsport.go.jp/>

